

15. ^{99m}Tc -Gluconate による腎シンチグラフィー

古賀 一誠 渡辺 克司 川平建二郎
仲山 親 鴨井 逸馬 中山 卓
川波 喬 松浦 啓一
(九大・放)

近年種々の臓器シンチグラフィーに ^{99m}Tc -標識化合物が用いられるようになってきた。

最近、簡単な操作で調剤できる腎シンチグラフィー用放射性医薬品として ^{99m}Tc -gluconateが開発された。我々は37例の症例に使用し、好成績を得た。一部 ^{203}Hg -ネオヒドリンとの比較も行なった。又経時的腎集積の状態を Data 処理装置を備えたシンチカメラで観察することにより至適検査時間などについて検討した。以上により ^{99m}Tc -gluconate 溶液 2～3 nCi 静注後、90—120 分の間にスキャンする。

又臨床例では78%に良好な像が得られた。 ^{203}Hg -ネオヒドリンとの比較においては著変なく良好な像が得られた。

以上により ^{99m}Tc -gluconate による腎シンチグラムは ^{203}Hg -ネオヒドリンと比べ、さほど変りな

く、鮮明な像が得られ、被曝線量も小さく、今後 ^{203}Hg -ネオヒドリンにとってかわるものと思われる。

16. ^{99m}Tc -MAA による肺シンチグラフィー

安永 忠正 菅 正康 片山 健志
(熊大・放)

「テクネ MAA キット」を用いて作成した ^{99m}Tc -MAA に対して、あらかじめ標識率、静注後の肺よりの流出状態を調べ、臨床的には、各種心肺疾患99例に応用し、シンチカメラにて短時間に前後左右四方向の撮影を行ない、良質の画像を得たが、特に未治療の肺癌43症例に対して、胸部 X線像と対比しつつ撮影方向の違いによる肺血流障害の検出能の差を比較検討した。その結果は1～2の肺区域に血流障害が限局する例では、前後像や後面像のみの1枚の像では、血流障害を見落すことがあり、側面像を加えた多方向撮影の必要性を強調し、時間的にも ^{99m}Tc -MAA の使用により短縮できることを報告した。